

28 愛防第 36 号  
平成 28 年 6 月 30 日

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

発生予察情報について（送付）

病害虫発生予察注意報（第 1 号）を下記のとおり発表したので送付いたします。

-----  
平成 28 年度 病害虫発生予察注意報（第 1 号）

平成 28 年 6 月 30 日  
愛 媛 県

病害虫名 いもち病（葉いもち）

作物 水 稲

1 発生地域 県下全域

2 発生程度 やや多～多

3 注意報発表の根拠

- (1) 6 月の定点調査において、普通期水稲では平年にはみられない葉いもちの発生が確認されている（下表参照）。
- (2) 東予地域を中心に 6 月中旬以降、普通期水稲の育苗ほ場で苗いもちの発生が広範囲に確認されていた。
- (3) BLASTAM による葉いもち感染好適条件が、県内 15 地点のうち、6/16～6/17 に 8 地点、6/25～6/26 に 7 地点で出現している。
- (4) 1 か月予報（6 月 23 日発表）では、平均気温はほぼ平年並みであるが、降水量は多く、日照時間は平年並か少ないとされていることから、発病には助長的である。

4 防除上の注意

- (1) 梅雨期は発病に好適条件となるため、本病に弱い品種や常発地、育苗箱施用剤を使用していないほ場では、葉いもちの発生に十分注意する。
- (2) 本田初期に発病したほ場では、本田粒剤と治療効果の高い薬剤を組み合わせた防除を行う。
- (3) 既発病ほ場においては、新葉等で新たな病斑形成（病勢の進展）が見られた場合には、治療効果の高い薬剤を用い速やかに防除する。
- (4) 置き苗は本田の発生源となるので必要株が確保された時点で本田から除去する。

表 定点調査における水稲（普通期栽培）の葉いもちの発生状況

調査時期		発生ほ場率 (%)	平均発病度
6 月	H28 年	9.10	0.13
	平 年	0.00	0.00

注) 平成 28 年は 11 ほ場の発病状況を調査。平年は平成 18～27 年の調査結果の平均値。